

部署紹介

介護医療院 5棟

どんな部署？



5棟は2号館2階にあり、入り組んだ施設の真ん中辺りにあります。

利用定員は53名で、高井先生を中心にナース・ケアワーカー23名と共に仲の良いチームケアを行っています。入所者の方には優しさと思いやりで対応し、笑顔の絶えない日常生活を送れるような支援を目指しています。

アピールポイント

5棟では皮膚のトラブル予防に力を入れています。週2回の入浴後にはしっかり全身に保湿剤を塗って、褥瘡(じょくそう=床ずれ)を早期発見/早期治療/予防第一!で頑張っています。

Pick up!



doctor

5棟担当 医師 高井 真紀

好きな食べもの 韓国料理

趣味 ハンドメイドフェス巡り

休日の過ごし方 韓国ドラマを観る

スタッフよりひとこと シャイな先生ですのでぜひ皆さんからお声かけください!

地域交流活動

2024年4/22(月) 社会福祉協議会総会 当院長による記念講演 in北崎公民館

2024年4/24(水) 上新町サロン 健康体操講座 in前原コミュニティセンター

当院ではご依頼をいただければ、地域に向いて、講演や健康体操などの出前講座を行っています。

「講演をお願いしたい」「健康講座を聞いてほしい」などご要望がありましたら、当院までお気軽にお問合せください♪



編集後記

4月は桜・5月は藤の花・6月はアジサイと、各地のお花巡りが取材時の楽しみとなっています。おすすめのお花スポットがあればぜひお教えください!

医療法人 永寿会 シーサイド病院

シーサイド病院介護医療院

〒819-0165 福岡県福岡市西区今津3810番地

TEL 092-806-7171 FAX 092-806-5021

グループホーム シーサイド 092-806-9067

ケアプランサービスシーサイド 092-805-7862

シーサイド訪問リハビリテーションセンター 092-806-7273

シーサイド通所リハビリテーションセンター

<https://www.seaside-hp.or.jp>



表紙画像～車いすの調整～



特集 車いすのキホン

通りハ news

品川院長の漢方コラム

部署紹介～介護医療院 5棟～

車いすの特集

キホン

福祉用具のひとつである車いす。目にする機会はあっても、実際に使用したり操作したりした経験のある人は少ないのではないのでしょうか。
今回は当院のリハビリテーション科から、車いすのキホンについてご紹介したいと思います。

1. 車いすの名称 車いすの操作方は、型が違っていても基本的には同じです。

自走用

① グリップ&ブレーキ
介助者が操作するときに使います。操作は自転車のハンドルと同じです。

② アームサポート
使用者の肘を支えます。

③ タックルブレーキ
使用者が自分で操作するときのブレーキ。

④ レッグサポート
足が落ちるのを防ぎます。着脱が可能です。

⑤ フットサポート
使用者の足置きとなる部分。

⑥ ハンドリム
自走用についています。使用者が自分で操作するときに使います。

介助者だけでなく、使用者も手動で操作することのできる車いすです。

介助用

① グリップ&ブレーキ
介助者が操作するときに使います。操作は自転車のハンドルと同じです。

② アームサポート
使用者の肘を支えます。

③ タックルブレーキ
使用者が自分で操作するときのブレーキ。

④ レッグサポート
足が落ちるのを防ぎます。着脱が可能です。

⑤ フットサポート
使用者の足置きとなる部分。

⑥ ハンドリム
自走用についています。使用者が自分で操作するときに使います。

介助者が押して操作する車いす。折りたたんで持ち運びしやすいように車輪が小さいのが特徴です。

上記の車いすはスタンダードタイプと呼ばれ、施設・在宅ともに最も多く使用されている標準的な車いすです。

2. 車いすの種類

スタンダードタイプの他にも、使用者の特性に合わせた様々な車いすがあります。

ティルト・リクライニングタイプ

同じ姿勢で長時間座ることが困難な方

リクライニングタイプは背もたれの角度を変えることができ、ティルト型は姿勢を維持したまま座面ごと角度を変えることができます。ティルト機構とリクライニング機構が一体になった車いすもあります。

多機能・モジュールタイプ

車椅子で過ごす時間が長い方や、長時間の座位保持が難しい方

使用者に応じてサイズの変更などが可能です。タイヤや座面の高さ、座面の幅、アームの高さなどのパーツを、使用者の体格や障害の程度、生活環境などを考慮し、カスタマイズすることができます。

3. 車いすの選び方

使用する人の身体や生活スタイル(使用する場所)に合ったものを選ぶことが大切です。

円背(腰の曲がり)の強い方
⇒ 背もたれの張り具合を調節できる機能が付いた車いす

ある程度自分で動くことができる方
⇒ 自走式の車いす

体格や症状などが変わりやすい方
⇒ 購入よりもレンタルがおすすめ

シーサイド病院でも、リハビリ科スタッフが入院・入所後に身体の状態を評価し、その方にとって最適な車いすを選んでいきます。
また、車いすの購入やレンタルは、**介護保険の適用**になることも。使用する人に合った車いすを見つけるために、まずは一度プロにご相談ください！
安心・安全な車いすを選び、日常生活を快適に過ごしましょう。

通所リハビリ NEWS

シーサイド 通所リハビリテーションセンター

WEBでも紹介しています

お知らせ / 利用者の皆様楽しんでいただけるよう、職員が愛情込めて育てている花畑。春には色とりどりの花が咲き誇りました！通所リハの空き状況と共に、今後もホームページで随時ご紹介していきます!! 季節ごとの美しい花々をぜひご覧ください。

品川院長の漢方薬講座 ③

第三回「水バランスのくずれ」

人体の60%を占める水分バランスがくずれ水のめぐりがわるい状態を水滞(すいじ)といいますが、水毒(すいどく)ともいいます。

★水滞は浮腫(むくみ)や下痢、めまい、関節のこわばり、頭痛などさまざまな症状を引き起こし、重症化すると胸水や腹水貯留という症状に発展することもあります。湿度が高い日本では、水滞に対応する漢方処方が特に重要です。

★治療には、水分代謝を正常化し、体内の余分な水分を排出する生薬が用いられます。特に、茯苓(ふりやう)や猪苓(ちよれい)などの生薬が有効とされ、体内水分のかたまりを調整してくれます。

★水滞に対する代表処方方は五苓散(ごれいさん)です。水の滞りと気の流れを調整してくれます。他に、冷えのある方に当帰芍薬散(とうきせきやくさん)、膝の問題に防己黄耆湯(ぼうぎわうじとう)に対する小青竜湯(せうせいりゅうとう)なども水毒に対して異なるアプローチで利用されることがあります。

★漢方治療は、体に合う処方を利用して、水分バランスの崩れによる症状を根本から改善し、自然治癒力を高めることを目指します。